

～ 「環境モデル都市」 実現に向けて ～

A 環境配慮型暮らしの実践

- ・省エネ・省資源・リサイクルの強化
- ・ライフスタイルの転換
- ・環境に配慮した暮らしのシステム創設と推進
- ・地域資源の創出・活用と支援



B 環境にこだわった産業づくり

- ・資源循環・省エネ・省資源
- ・先進的環境技術の活用
- ・クリーンエネルギーへの転換
- ・バイオマスエネルギーの創出
- ・安心安全な農林水産物づくり

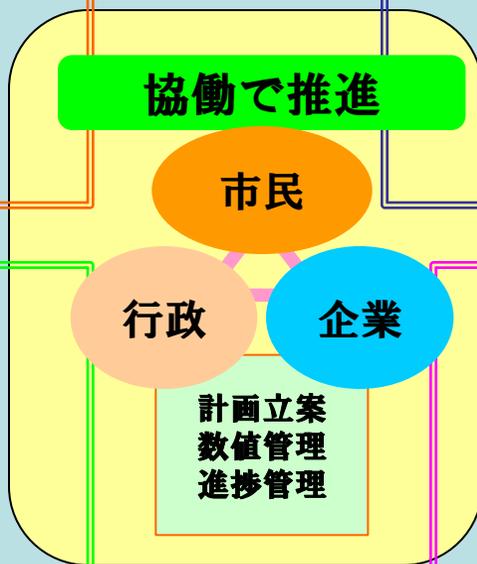
C 自然と共生する環境保全部都市づくり

- ・市民による水源森涵養・海の再生
- ・二酸化炭素の吸収促進
- ・自然エネルギーの活用



D 環境学習都市づくり

- ・水俣病の教訓発信
- ・人材育成による内外への波及効果
- ・環境学習の拠点整備
- ・自然環境学習・体験学習プログラムの構築



温室効果ガスの削減 ⇔ 地域の活力の創出
「環境」と「経済」が調和した持続可能な地域社会の形成

環境モデル都市推進のための体制・組織

環境モデル都市推進委員会

2008年設置 委員22名、アドバイザー-1名
有識者、環境団体・各種団体代表、公募

環境モデル都市推進本部(市役所)

2008年設置
市長を本部長に関係部課長 計19名

専門委員会

ゼロ・ウェイスト
円卓会議

環境にやさしい
暮らし
円卓会議

観光と公共交通
円卓会議

5つの円卓会議

環境大学と環境学習
円卓会議

エネルギーと産業
円卓会議

ゼロ・ウェイストのまちづくり水俣宣言

- ・日常を見直し、自然の恵みを大切にし、限りある**資源やエネルギー**を最大限有効に利用する暮らしと仕組みづくりに努める。
- ・自然をけがさず、全ての生き物の命と健康を脅かさないため、2026年までにごみ処理を**焼却や埋立に頼らないまちづくりのしくみ**をつくる。
- ・1992年「**環境モデル都市づくり宣言**」以来、続けてきた取り組みと努力に**誇り**を持ち、この**経験と成果**を生かしてゼロ・ウェイストを進める。
- ・市民・事業者・行政が**必要な情報を共有**し、**継続的に話し合う場**を設け、常に**目標・行動・成果を見直し**ながら、**協働**で取り組む。
- ・志を同じくする日本中・世界中の人々や自治体と手をつなぎ、連携して問題解決を図り、日本と世界の環境をよくする**ゼロ・ウェイストの仲間** づくりを進める。



A: 環境配慮型暮らしの実践

地域全体丸ごと環境 I S O

- ・ 環境に配慮した暮らしへの転換
- ・ ムダをなくそう (ごみゼロに向けて)

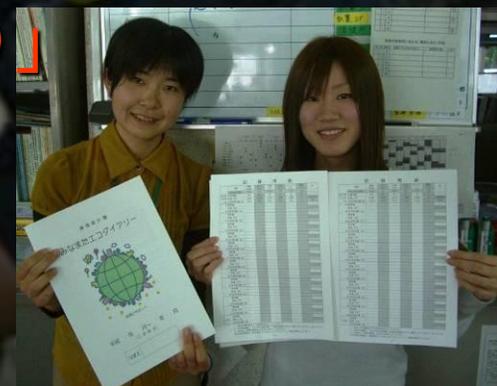


「学校版 I S O」

「事業所版 I S O」



「家庭版 I S O」



B: 環境にこだわった産業づくり

環境に健康に、安心安全なものづくり

- ・ 新たな環境ビジネスの創造
- ・ 安心安全な農林水産物



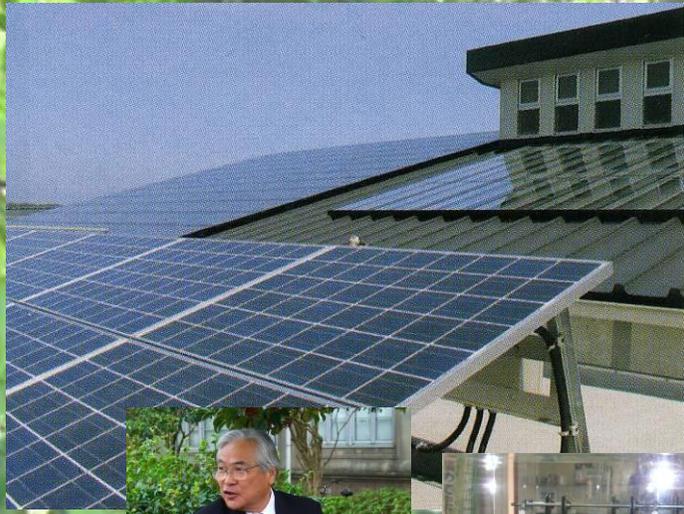
C: 自然と共生する環境保全型都市づくり

自然のエネルギーの活用

- ・ 太陽光、太陽熱、水力
- ・ バイオマス、植物の力

エコハウス（環境共生型モデル住宅の普及）

- ・ 足るを知る住まい



環境学習都市としての使命・責務



環境を学ぶ修学旅行、国内外研修の受入れ



みなまた環境大学、環境塾など

